

全国学力・学習状況調査 南相馬市調査結果（令和7年度）

全国・福島県・市内小学6年生の平均正答率(%)

国語・算数・理科（平均正答数/設問数）

	国 語	算 数	理 科
全 国	66.8	58.0	57.1
福島県	65	55	56
南相馬市	61	56	52

南相馬市立原町第二小学校 全国学力・学習状況調査分析

1 実施日 令和7年 4月17日（木）本体調査

2 調査対象 第6学年児童（31名）

3 調査内容 (1) 教科に関する調査（国語、算数・理科）

(2) 学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関する質問調査

4 調査結果

(1) 教科に関する調査

- 言葉の特徴や使い方・計算問題など基礎的な知識や技能に関しては理解している
- 目的に応じて、必要な情報を見つけ選択したり、数や言葉を用い記述したりすることに課題が見られた。

● 理科に関して全領域での知識の習得の低さが見られた。

(2) 児童・生徒質問調査

- 将来の夢や目標を持っていますか。
- 先生は授業やテストで間違えたところや、理解していないところについて、分かるまで教えてくれていると思いますか。
- 国語の授業で学習したことは、将来、社会にでたときに役立つと思いますか。
- 分からないことやくわしく知りたいことがあったときに、自分で学び方を考え、工夫することはできていますか。

5 学力向上の取り組み

- ・ デジタルドリル等を活用し、多くの問題に触れ自分の得意な問題やつまずきやすい問題に取り組むことで家庭学習や次の学びにつなげる場を設定する。
- ・ 互いの考えに触れ、考えを広げたり深めたりする学び合いの時間を確保する。
- ・ 問題の解き方や考え方を言葉、数字、式などを使って説明したり書いたりする時間（タブレットとノート等の使い方を考えて）を授業に入れる。

6 保護者（や地域）の皆様へ

- 読書について（学校図書館や南相馬市立図書館の活用)
 - ・ 本や新聞など活字のある資料を話題とした家族での会話の機会をつくる。
- 家庭学習について
 - ・ メイディア（テレビ、スマホ、ゲームなど）を使用する時間、場所を決める。
 - ・ 家庭学習の習慣化（チェックカードの確認）と励ましの言葉かけをする。